

2017年(平成29年)11月12日(日曜日)

日本経済新聞



米シーガーが作成した苦小牧市での統合型リゾートのイメージ

米カシノ大手シーガー・エンターテインメントは、北海道苦小牧市と大府市・大阪市に統合型リゾート(IR)の事業構想を提案したと明らかにした。キャンセル依存症の発生を抑えるプログラムも説明した。法律の枠組みが整備されるのに先だつて具体的な構想を

カシノ受注競争 号砲 米シーガーズ、苦小牧・大阪に提案

依存症対策も説明

自治体に提案する動きが本格化してきた。今月1日には、韓国シーガーズのイリアム・シヨンス・ブツクハイス社長が日本拠点の社長に就任する人事を決めた。日本では昨年までにIR推進法が成立し、来年には実施提案が国会に提出される見通しだ。シーガーズは複数の地帯でIR運営のライセンス取得を目標している。大阪府・市には非公式

な噴水を造り、ホテルや劇場、会議場を取り囲む構成だ。建物はアースクエーターが軸になって滑るイメージにした。大阪府・市には非公式に構想を伝えた。エンタテインメントと健康を軸にし、医療施設も整備する。医療ソリューションの取り込みも狙う。日本では訪日客が売上高の多くを占めることで「ロボテクスやアニメ、料理などの日本の技術、文化のシヨーターズにすること」で特徴を打ち出す。IR施設への投資規模